

みつげよう！スーパーマーケットのひみつ

～店ではたらく人びとのしごと～

平成 18 年 11 月 29 日 第 3 学年 1 組・2 組

1 単元の目標

関心・意欲 態度	地域の販売に携わる人々の様子に関心を持ち、見学や調査活動を通して働く人々の様子を意欲的に調べ、考えながら追究している。
社会的な 思考・判断	地域の販売活動に携わる人々は消費者の願いに合わせて工夫や努力をしていることを考え、適切に判断することができる。
観察・資料活用 の技能・表現	地域の販売活動に携わる人々の様子を、見学して具体的に観察・調査し、調べた過程やわかったことをノートや新聞などにしてわかりやすく表現することができる。
社会的事象に ついての 知識・理解	地域の販売活動にかかわる仕事にはそれぞれ特色があり、それらの仕事に携わっている人々は、販売の工夫や努力をして利益を高めていることをとらえることができる。

2 単元について

指導の手だて

- (1) **買い物調べで疑問** 自分の家の買い物調べを通して、多くの人が買い物に行く店について、関心や疑問を持たせる。
- (2) **視点を持ってお店見学** 何を調べたり聞いたりしてくるかを明確にして見学に行き、意欲的に追究させる。
- (3) **写真で再確認** 見学に行って発見したことをもとにした学習では、話し合いの中に写真を提示し根拠を明らかにし、みんなで確認しながら学習を進める。
- (4) **発見カードで意見交流** 見学に行った際には発見カードを書き、学校に帰ってから発見したことについて考えを書いていく活動を取り入れる。また、発見カードをもとに、意見の交流を行わせる。
- (5) **お店のひみつ新聞の発行(読解力育成)** 学んだことを新聞にまとめて、見学に行ったお店にプレゼントする。

児童は

【A平岩店】全員が校区内のスーパーマーケットに買い物に行ったことがある。特にA平岩店は学校のすぐ近くにあり、児童にとってはなじみの深い店である。保護者も日常の買い物ではA平岩店を利用する方が多い。しかし、店でどのような人々が働いているのか、客から見えないところで店の人々がどんな工夫をしているか等については、知りたいと感じる機会もなかった。

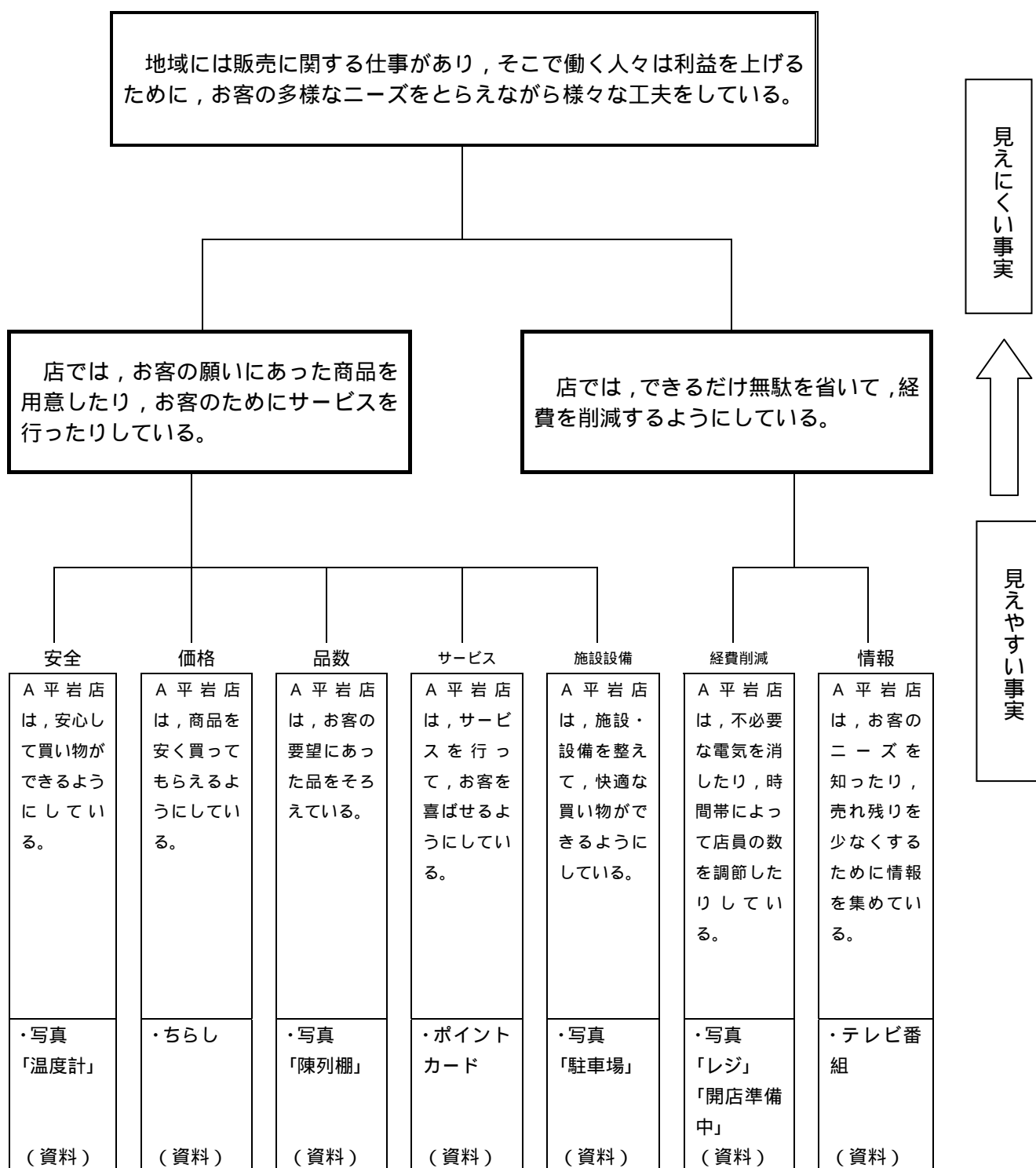
【考えを持つ】毎時間自分の考えをもたせ、ノートに書く活動を取り入れているが十分にはできていない。書くことには少しずつ慣れてきているので、これからも根拠を明らかにしながら考えを書けるように力を入れていきたい。また、考えを深め合う話し合いを進めていくためには平素の指導が必要である。社会科だけでなく、いろいろな場面をとらえて、個々の考えを出し合い話し合う場面を設定していきたい。

この単元は

【概略】家庭での買い物調べをきっかけとして、地域にあるスーパーマーケットの見学を行い、販売や経費削減に関する人々の働きや工夫を見つけたり考えたりする学習である。

【中心となる内容】平岩には、A平岩店があり、校区の小売店の中でも来店者が多く、地域の実情に即した品揃えで地域の買い物の中心となっている。なぜたくさんの人々が買い物に訪れるのかを探ることにより、スーパーマーケットで働く人々が消費者のニーズを満足させ売り上げを増やしたり、経費削減をしたりするために様々な工夫をしていることと、工夫することによって、利益向上を図っていることを理解させていきたい。

3 内容構造図



研究仮説

教材及び単元の学習過程の構造化を図り，評価規準を明確にする中で，目標を達成させるための様々な手だてを開発すれば，児童は自分の考えをもつことができ，さらに深め合うことができるだろう。

4 指導計画（全11時間）

次	時	学 習 活 動	評 価 規 準
	1	平岩地域の店舗調べをして、自分の家ではどこのお店でよく買い物をするか調べる。  自分の家ではどこのお店でよく買い物をするのだろうか。	平岩にはどこにどんな店があるか関心を持って調べ、自分の家ではどこで買い物をするのかを継続的に調べている。 【関心・意欲・態度】
	2	クラス全員の家ではどこでよく買い物をするかを調べることにより、学習課題をたて、解決のために家族にインタビューをすることを確認する。  なぜ、A平岩店でよく買い物をするのだろうか。家の人に聞いてみよう。	なぜA平岩店で買い物をする家が多いのか疑問を持ち、家族にインタビューしている。 【関心・意欲・態度】
	3	なぜ、A平岩店で買い物をすることが多いのか、インタビューをもとに予想をたて分類する。  なぜ、A平岩店でよく買い物をするのかな、わけをみんなで考えてみよう。	家族へのインタビューをもとに、課題に対する予想をたて、同じ物をグループにわけている。 【思考・判断】
	4	課題解決のためにA平岩店に見学に行くことにし、見学の準備をする。  何を中心に見学したらいいか、みんなで確かめよう。	見学の視点（安全・価格・品数・サービス・施設設備）を持っている。 【思考・判断】
	5 6	課題解決のために、視点にそってA平岩店を見学する。  何を中心に見学するのかを考えながら見学しよう。	見学の視点に基づいて見学をしたり、わかったことを見学カードに書き込んだりしている。 【観察・技能・表現】
	7 (2組本時)	見学してわかったことを視点に沿って出し合い、なぜA平岩店で買い物をすることが多いのかまとめる。  なぜ、平岩の人はA平岩店でよく買い物をするのだろうか。	A平岩店では、多くの客に来てもらうために様々な工夫をしていることをとらえている。 【知識・理解】
	8 (1組本時)	なぜ時間帯によって開いているレジの数がちがうのかをつかむ。  なぜ、時間によって開いているレジの数がちがうのだろうか。	A平岩店では、できるだけ無駄を省くように努力していることを理解している。 【知識・理解】
	9	A平岩店で働く人々の目的は何かを考える。  なぜ、客の多様なニーズをとらえながらさまざまな工夫をしているのだろうか。	客のニーズを満たすと同時に、A平岩店の利益向上が目的であることをとらえている。 【思考・判断】
	10 11	店ではたらくひとびとの学習をして、わかったことを新聞にまとめる。  わかったことや思ったことを新聞にまとめよう。	学習したことを、新聞の形で表現している。 【観察・技能・表現】

5 本時（第8時）の目標

- スーパーマーケットは，できるだけ無駄を省くことによって，利益をあげたり品物をより安く売ったりする努力をしていることがわかる。

6 本時の展開

思考過程	発問・指示	予想される反応	指導の手だて (評価規準 研究仮説との関わり)
つかむ	1 写真やグラフを見て思ったことを言いましょう。 ・写真 「A平岩店のレジ」	・A平岩店だ。 ・開いているレジの数がちがうよ。	・開いているレジの数が違う数枚の写真を提示して，疑問を持たせる。 ・写真の時間帯を知らせる。
	なぜ，時間によって，開けているレジの数を変えるのだろうか。		
考える	2 なぜ時間によってレジの数を変えるのか，次のグラフも見ながら，考えましょう。 ・グラフ「時間帯による客の数」 ・グラフ「時間帯による店員の数」	お客さんが少ないときは，レジをたくさん開けていても，あまり人がこないで，ひまだからだと思う。  お客さんが少ないときは店員さんも少ないね。だから，開いているレジも少ないんだ。	- 時間帯による客の数と店員の数のグラフを読むことにより，客が少ないときはレジも少ない，レジが少ないときは店員も少ないことを，とらえさせる。 - 自分の考えを書かせる。 (ワークシート)  お客が少ないときはレジをたくさん開けていたら電気代が無駄になるからだと思うよ。
深める	3 時間によってレジの数を変えると，お店にとってもお客にとってもいいことがあるのです。何だと思いますか。	- 店員さんが少なくてもいいから，払うお金（給料）も少なくてすむと思う。 - 払うお金が少なくてすめば，品物の代金も安くできるかもしれない。	児童から，なかなか考えが出ない場合は，経費と利益の関係を簡単な図で説明する。
まとめる	4 A平岩店の店長さんに聞いてみましょう。		- 出ていくお金を少なくする観点からと，それがお客にも還元される観点から，わかりやすく話してもらおう。 - 無駄な経費をかけないことへの他の取り組みも話してもらおう。
	5 わかったことや思ったことをノートに書きましょう。 	A平岩店では，なるべく無駄なお金は使わないようにして，もうけを増やしたり，お客さんに安く品物を買ってもらえるようにしたりという工夫をしているんだな。	無駄なお金を使わないようにしてもうけを増やし客への還元も図っていることがわかりそれに対する自分の考えを書いている。 (ノート)

(指導者：1組 安長玲子)

7 本時(第7時)の目標

- 見学してきたスーパーマーケットの工夫を発表することを通して、ショージでは客の願いに合った商品を用意したり、客のためにサービスを行ったりしていることがわかる。

8 本時の展開

過程 思考	発問・指示	予想される反応	指導の手だて (評価規準 研究仮説との関わり)
つかむ	1 見学して見つけたA平岩店の工夫を発表しましょう。	・いろいろな種類の野菜が並べられていたよ。 ・値段が大きく書かれていて、見やすかったよ。	・価格・安全・品数・設備・その他のサービスという5つの視点を確認し、発表させる。
	なぜ、平岩の人はA平岩店でよく買い物するのだろうか？		
考える	2 店の工夫を「価格・安全・品数・せつび・その他のサービス」に仲間分けしましょう。	・温度計でいつも品物の新鮮さを保つことができるから、安全グループだね。 ・割引シールは、安いとたくさんの人が買うから安さグループだと思うよ。	・発表の裏付けとなるように、写真や実物を用意する。 写真や実物から、なぜその仲間に分けたのか、考えの手がかりを見つけて意見を述べるができるようにする。
	3 なぜ、A平岩店では多くの工夫をしているのでしょうか。	ジュースはいろいろな種類があったよ。いろいろ選べるから、品数グループだと思うよ。 	・見つけてきた工夫の仲間分けを通して、A平岩店では、客の願いにあった商品を用意したり、サービスをしたりしていることが捉えられるようにする。 ポイントカードを見せてもらったよ。お客さんのためのサービスをしているんだね。お客さんに何か聞かれたら、とてもいいに答えているね。
深める	4 A平岩店の工夫を入れて、A平岩店の広告を作ろう。	広い駐車場があると、買い物する人が多くても大丈夫だね。施設が整っているね。 	・5つの視点をもとにしたA平岩店の広告作りをすることで、買い物をする人が多いわけをまとめるようにする。 A平岩店で買い物をする人が多いわけを5つの視点をもとにまとめている。(ワークシート)
	5 次の時間は、他にも店の工夫はないか考えてみましょう。	安くて品数がいっぱいA平岩店では、自分が必要なものを選んで買うことができるよ。 	

(指導者：2組 三浦真由美)